

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>司会：横山会長</p> <p>那須総合計画主幹</p>	<p>定刻の2時を若干過ぎましたが、第5回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>まずは、前回の会議を欠席しましたことについて、お詫びを申し上げます。</p> <p>本日の会議の欠席では、松木委員から欠席の報告を受けております。では早速、議事に入ります。</p> <p>本日、事務局からの説明と、事前にお知らせがあったようにワークショップということで、席もあらかじめ分かれておりました、これで進めたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>それでは、レジュメの2番目の「美幌版総合戦略の改訂に係る事業の可否について」ということで、事務局から説明をお願いします。</p> <p>本日はお忙しい中、また天候の悪い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>私の方から、「美幌版総合戦略の改訂に係る事業の可否について」ということで、前回の会議で皆さまにご提案いただいた事業と、職員で構成するプロジェクトチームで提案した事業を合わせて、原課、担当課に判断をお願いしていましたが、その回答をとりまとめましたので、報告します。</p> <p>数が多いため、まずは書類番号1の事業名だけを記載したA4一枚物の資料をご覧ください。</p> <p>網掛けしてある部分がプロジェクトチームで提案した事業で、皆さまに提案していただいた事業は白抜きの部分となっております。</p> <p>右側の欄が、実施可能と判断された事業となっております、中には但し書きがあるものや、一部なら実施可能とされたものが含まれています。</p> <p>こうしてみますと、難しいと判断された事業が多くなっていて、その中で、創生推進委員の皆さまからご提案いただいた事業を中心に、不可となった事業について、その理由を簡単に説明させていただきます。</p> <p>書類番号2をご覧ください。</p> <p>こちらの見方ですが、事業内容がありまして、右側に「可否」の欄、一番右側が「原課検討結果」と記載しております。これが、役場内の各担当で検討した結果となっております。参考に担当課も記載しています。</p> <p>基本戦略1の産業関係の部分ですが、まず、1-1の「農業生産法人育成支援事業」については、その下にある1-2と同じような内容ですが、現在、国や道の支援事業があること、また現在安定している農家が多いことから、将来的な必要性は理解しているが、この5年間での実施は難しいとの検討結果となりました。</p> <p>次に1-3「農園カフェ」ですが、みどりの村は、施設や博物館を含め、この一帯をどう活用していくかといった検討会を設置して、協議をしている最中となっております。そちらの検討会には、一般の人を含めた関係者が集まっていますので、そちらで現在審議を進めています。</p> <p>次に1-4の「農産物支援事業」ですが、付加価値のある商品として、現在、冬に栽培するアスパラに力を入れているところでして、量は多くないものの、札幌の大丸や三越で高級アスパラとして売られています。これを継続していくことを考えていますので、ここ数年で新たな品種試験を難しいとのことでした。</p> <p>次は5ページ目をお開きください。1-12「観光振興強化対策事業」ですが、これは結果に記載されているように、疑問があるということで、実行は難しいとされていますが、既存事業がありますので、その見直しに</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>よっては考慮の余地があるとのことでした。</p> <p>次に6ページ目の1-14「観光大使養成事業」については、費用対効果を考えますと、町内の外国人の英語教師に、PRをお願いすることで対応できるのではないかとということで、事業としての実施は難しいということでした。</p> <p>7ページ目の1-15「美幌へおいでよ美幌さん」ですが、これも現在の内容からでは難しいとのことで、2年後の町開基130周年のイベントに合わせて、検討していきたいということでした。</p> <p>次のページの1-18「元気な起業家応援事業第2弾」については、町長のマニフェストの一つである中心街活性化の内容と類似点が多く、町長はポケットパークとっていますが、これは役場内に部署を横断した組織を立ち上げることとなっておりますので、そちらで検討が進められる予定となっております。</p> <p>その2つ下にある1-20「冬季雇用対策事業」ですが、この事業は、夏は農業や建築、冬は商工業といったように美幌町内で労働者を循環させる内容だったと思います。今実施してる通年雇用促進支援事業は、一つの業種で通年雇用というものですので、少し内容が異なりますが、雇用者の意向を確認しながら、既存事業で対応していきたいという考えでした。</p> <p>次に、9ページ目の1-21「美幌町最低賃金事業」については、その負担額を試算してもらったところ、かなりの高額になること、また不正が行われる恐れがあることから、実施不可という判断となりました。</p> <p>次に資料3の基本戦略2の部分です。ここでは主に、移住や誘致に関する施策が中心となっております。</p> <p>2-1の「民泊体験の受入拡大事業」についてですが、内容的には素晴らしいことですが、民泊は受け入れ先が期待できないこと、またこの仕組みの核となる団体若しくは人員の確保や育成が困難であることから、実現は難しいとの結果でした。</p> <p>その下の2-2「移住支援事業」では、町所有の土地を無償譲渡するためには、まず条例に規定すること、その後に議会の承認を得る必要があるため、現状では難しいことから、現時点では、実施不可という判断になりましたが、周辺の市町村でも条例で規定して実施するところも出てきているので、将来的には健康もできるのではないかと思います。</p> <p>次に、3ページ目をお開き下さい。2-8の「大学誘致事業」と2-9「福祉系専門校の誘致事業」をまとめてお話ししますと、結構昔にはコンピュータの学校があったそうですが、学校があっても入学者の減少で撤退したという経緯があったそうで、誘致するにも近隣の市町村含めた入学見通し数が立たないと、継続が難しいと思いますので、学校の誘致は実施が難しいという結果になりました。</p> <p>続いて、資料4の基本戦略3、結婚や子育てに関する内容です。</p> <p>3-2の「託児所開設支援事業」では、対応するような国の助成制度はあるものの、ご提案いただいた事業内容と国の要件が合わないようですので、短時間就労者のための託児であれば、認可保育園など他の充実を図った方がいいという結果でした。</p> <p>次のページの3-4「子ども育成・見守り事業」については、「きてらす」を活用した子育て支援ということですが、近くに「子育て支援センター」がありますので、その利用を促したいということでした。</p> <p>提案事業の最後となりますが、資料5をご覧ください。</p> <p>4-1の「高校の魅力化による地域活性化」については、高校と中学の先生方の授業見学を行うなどの交流を始めており、この事業の実施は難し</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>いという判断でしたが、今後も連携については方法を検討していくということでした。</p> <p>次に4ページ目をお開きください。</p> <p>4-9の「町職員養成事業」ということですが、職員研修については、町の単独研修や外部委託、派遣研修など数多く実施しています。美幌駐屯地への体験入隊も行っておりますが、地元企業というものは実施しておりませんので、現時点では困難という判断でしたが、検討していくという回答でした。</p> <p>最後になりますが、4-11の「託児所併設のサービス付き高齢者住宅の整備」については、ハード面や場所的に難しいということでした。高齢者福祉については、現在「地域包括ケアシステム」による、地域で自立した生活が営めるよう支援する体制を整えており、地域包括支援センターや社会福祉協議会、ボランティアと連携して、福祉の充実を図っているので、それで対応していきたいとのことでした。</p> <p>以上、簡単ではありますが、皆さまからご提案いただいた事業の中で、実施が難しいと判断されたものについて、説明させていただきました。</p> <p>逆に実施が可能であると判断されたものについては、資料の1をもう一度ご覧ください。</p> <p>右側の「実施可能事業名」に記載のある事業が、原課から可能であると判断された事業です。ただ、可能と判断されただけですので、実際に実施するかは、予算が絡んできますので、今後財務当局との協議しながら実施については検討していくこととなりますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>そして、前回の会議で、それぞれの基本戦略の柱となる事業を作っていくという話をしましたが、これらの提案された事業を組み合わせると、基本戦略1と2の柱になるような事業をいくつか考えました。</p> <p>それが資料6になります。</p> <p>基本戦略1は産業分野ごとに施策を分けていますので、まとめた柱は難しいのかなと思ひまして、それぞれの分野ごとに大きな目玉を作ろうと考え直しました。</p> <p>今年は、農業分野でタイプIをとりましたので、今回は林業分野と観光分野、商業にも関係していますが、2つの事業を考えました。</p> <p>資料1を隣に並べて聞いていただきたいと思ひます。</p> <p>1つ目が101の「森林認証材ブランド化推進事業」で、これは石川委員がご提案いただいた資料1にある「1-5カラマツ認証材ブランド化実証事業」と、既存の「森林認証材活用促進事業」、もう一つ既存の「美幌町産材活用促進事業」をまとめたものとなっています。</p> <p>石川委員が言っておられたように、当町の森林認証材は、既存の事業により利用促進に努めてきましたが、加工技術が弱いので、一旦外に材を出して戻すということを行っておりますので、経済が外に流れている状況となっています。</p> <p>それを改善するために、町内で伐採された材を、町内で建築材にまで仕上げ、利用していくシステムを作りたいと思っております。</p> <p>そのための普及促進費や、更なる認証材製品の開発費用などを支援し、最終的に核となる事業者、その上にいる森林所有者の経営を向上し、経済を活性化させることが目的です。</p> <p>これは原課となる耕地林務グループとは協議済みでして、そこには核となる森林組合さんの主導が不可欠ですが、それも問題なさそうだという話を聞いています。内容については、今後の話し合いの中でいくらか変わっ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	<p>ントしてはどうかだとか、産科の充実、そしてマッチングシステムということで、例えば子どもが3～4人いるお母さんが、急遽用事ができたとか、上の子が熱を出して病院に行かなければいけないとか、本人が調子悪いといった時に下の子2～3人も引き連れて病院はなかなか行けない。そういった時に、パッと電話すれば一緒に病院まで来てくれる、例えばベテランの50、60代の子育ての終わったおばあちゃん方に一緒に車に乗って病院に行ってくれて、診察をしている間、下の子達を見てくれるような体制があると非常に助かるという話もありました。</p> <p>あとはブックスタート、1～3才の物的支援も必要ですし、学校関係で私もそうですが、子どもが3人も居ると、たかだか2千円でもボディブローのように効いてくる。先生が徴収する時はたかだか2千円だが、我が家では6千円になり、町としても教材費の助成ですとか、今でも児童手当を貰っていますが、もう少し少子化を防ぐために人口を増やそうと思えば、第2子、第3子への児童手当の金額をもう少し手厚くしていただけたらと思います。</p> <p>関連して、習い事の部分です。趣味と言われればそれまでですが、例えばスポーツで少年団に入れると年会費で1人1万5千円です。それにジャージ、シューズ、大会参加料、バス代となると1人5～10万掛かります。うちは3人で、みんなスポーツ少年団に入っています。年間30万です。スポーツだけに特化するとそうですが、習い事ということでいえばブラスバンドもあるでしょうし、文化、芸術もありますが、そこも含め、見直す時期には来ているのではないかということでした。</p> <p>次に結婚関係で言いますと、小さくてもいいからもっと魅力ある式場があればいい、美幌町ではこういう素敵なチャペルがあるというような式場があればいいと意見がありました。</p> <p>次の4、住み続けたいと思える生活環境を整えるということで、こちらの方も精神的な部分でいきますと、中流と考えられる生活が出来るような仕事があるといいとか、出来ればですが美幌の側に札幌の様な大都市があるといいなど様々な意見がありました。総じて衣食住が一番大事、衣食住を充実したまちづくりを目指すべきではないかという意見がありました。</p> <p>次は物的支援ということで、個人的な不満もありますが、中学校を学生服かジャージのどちらかにしてほしい。特に美幌中学校は学年毎にジャージの色が違い、お古が着られない。私の家の場合は2コずつ年が離れているのでジャージがグレー、青、緑と3種類になります。しかも色が指定されているので、他のお友達から貰うにしても学年が違えば貰えない。子どもが1人だと苦にならないが、3人居ると非常に厳しいです。しかも柔道も授業で始まり、男の子と女の子でサイズが違うので使い回せないで、買わなければならない。何か良い方法はないかと思います。そして、小学校の冬の授業のスポーツはスキーとスケートなので勘弁してほしい。これも、うちは3人なので、冬はパニックでした。借りる頃にはサイズもなく、中古店に買いに行く。大変でした。スキーやスケートを振興している団体には申し訳ないが、3人いると本当にきついです。切実な思いです。</p> <p>関連して、旭小学校でもブラスバンドをやって欲しいという要望がありました。東陽と美小が合同でやっていて大阪に行っていました。</p> <p>あとは子どもの教育レベルの問題です。特進という言い方かどうかはわかりませんが、中学生、高校生向けの田舎であってもハイレベルな予備校や塾があると、教育に熱心な親も居ますから、スポーツと平行して力を入れてく方がいのではないかと意見がありました。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>城委員</p> <p>司会：横山会長</p> <p>那須総合計画主幹</p> <p>斉藤主査</p>	<p>関連して図書館ですね。もう少し自習スペースを広くして、美幌の沢山の小学生から高校生、みんなが一同に介して、それぞれが先輩のお兄さん、お姉さんを見ながら、勉強をしなきゃと思えるような環境が作れる場所を図書館や役場でもいいですが、大勢入れて勉強する姿勢を先輩から学べるような雰囲気づくりというような事をやってほしいと意見がありました。</p> <p>次は、スポーツ振興の部分で、今の規定はどうかかわからないですが、部活動の大会の時、スクールバスは全道大会などの冠大会じゃないと出さなければなのですが、空きがあれば管内の練習試合などでも有料でもいいので、やってくれないかなと思います。私事ですが、子ども3人がスポーツをやっていると日曜日に3方向という時もあり、一つでも団体がバスを出してくれると非常に助かります。</p> <p>私のように、こんなに不満があれば、第2子、第3子なんて作らなくなるような気がしますが、取り留めのない話でしたが、この様な意見が水島班では出ました。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。発表に関して、聞いておきたいことなどございますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、この出された案を、事務局でとりまとめていただき、来年度の予算に反映出来る部分は反映していただけるように、庁内で考えていただければと思います。</p> <p>それでは、レジュメの最後になります4番目の「今後について」ということで、事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料はありませんので、口頭で説明させていただきます。</p> <p>12月中旬から、各原課から予算が提出され、財務と協議していく段階に入っていきます。そこで、28年度の実施事業が固まってくるので、同時に総合戦略での事業も決まってくることになります。</p> <p>そして年末になりますと、国においても今年度の補正予算や次年度の新型交付金の概要が見えてくる時期となっております。</p> <p>それらを考えますと、次回お集まりいただくのは年が明けてからと考えていまして、場合によっては、お集まりいただくほどの内容ではない場合は、文書の送付でもって会議の代わりにすることも考えています。</p> <p>そのため、本日が今年最後の集まりということになります。</p> <p>皆さまには7月からこの委員会にご参加いただき、数々のご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>改訂作業だけでなく、今後のPDCAサイクルの方法など、まだまだ皆さまと決めていくことが多くありますので、これからもどうぞよろしくお願いします。</p> <p>事務局からは以上ですが、オホーツク総合振興局からお知らせがあるということで、よろしくお願いします。</p> <p>オホーツク総合振興局の斉藤と申します。ワークショップお疲れ様でした。</p> <p>お時間をいただきまして、宣伝をさせていただきたいと思います。</p> <p>お手元に「人口減少と地域創生を考える道民フォーラム」というチラシをお配りさせていただきました。</p> <p>来週水曜日の2日、北見市民会館で13時半から行われるものです。</p> <p>これは全道各振興局で行っているものですが、これのオホーツク版とい</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
齊藤主査	<p>うこととございます。</p> <p>内容としましては、基調講演として道庁の総合政策部から、10月に北海道の人口ビジョンと総合戦略を策定しましたので、その報告をさせていただきます。</p> <p>その後講演として、東京農業大学オホーツクキャンパスの黒瀧先生、その他報告ということで、道山さんと増田さんからお話をいただけます。</p> <p>内容的には、農林水産業の強化ですとか、6次化などの食関連産業、来訪促進の観点からお話をいただくことになっています。</p> <p>申し込み締切が12月2日とありますが、札幌の道庁の締切ですので、オホーツク総合振興局では締切を設けていません。裏面に、私の名前と連絡先を記載していますので、当日参加でも大丈夫ですが、会場設定などの都合がありますので、出来れば前日までに私宛にご連絡いただければと思います。</p> <p>「人口減少と地域創生を考える道民フォーラム」12月2日に北見市民会館で開催されますので、よろしければ是非ご参加いただきたいと思います。お時間いただきありがとうございました。よろしく申し上げます。</p>
村田委員	ワークショップは出ないということでも大丈夫か。
齊藤主査	15時半からワークショップですが、そのまま膨張していただいても問題ないです。
村田委員	では、参加してみます。
齊藤主査	ありがとうございます。
司会：横山会長	それでは、最後に振興局の野村部長から一言お願いします。
野村戦略策定支援担当部長	<p>振興局の野村です。ワークショップお疲れ様でした。</p> <p>策定が終わって、これから実施ということになりますが、作るのも大変なのですが、やはり実行する方がもっと大変です。そのため、これからは本番かなと思います。</p> <p>一つ情報が。ちょうど本日朝に、補正の情報が出ていました。</p> <p>予算は1,000億円規模で、10分の10のソフト事業、記事には書いていないですが全額交付金ということですが、やはり先駆的なもの、他の自治体の先進事例となるものが対象となるようです。</p> <p>美幌町さんはそれを見込まれていますので、乗れるものがあるのかなと。</p> <p>内容は、観光や農林水産業の振興、中小企業や人材の育成、複数の自治体での連携事業を評価するといったもので、外部有識者により判断されるということです。</p> <p>補正もあり、新型交付金もあるということで、情報提供させていただきました。以上です。</p>
司会：横山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日本日予定されております議題については、全て終了しましたので、会議を終了させていただきます。</p> <p>お足元が悪いので、お帰りの際は気をつけてください。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

了